



株主のみなさまへ

2016

2月期 中間報告書

2015.3.1-2015.8.31

イオンモール蘇州園区湖東



イオンモール株式会社

証券コード:8905



新たな理念のもと 次なる成長ステージへ



代表取締役社長

吉田 昭夫

Akio Yoshida

新たな経営理念のもと、3つの成長戦略を推進

2016年2月期中間報告書をお届けするにあたり、営業収益、営業利益は過去最高となりましたことをご報告申し上げますとともに、日頃のご支援、ご鞭撻に対し、心より御礼申し上げます。

当社は、これまで「輝きのあるまちづくり」の実現を経営理念に掲げ、地域の開発事業への参画等を通じた「まちづくり」の観点から、モールの開発、管理・運営に取り組むなかで、国内最大規模の商業ディベロッパーへと成長を遂げてきました。

そして、2016年2月期のスタートにあたり、一層の成長を遂げていくことを目的として、地域とともに「暮らしの未来」をつくるLife Design Developerをめざすことを、新たな経営理念として策定しました。

今後はこの経営理念のもと、ローカリゼーションの視点に基づいたエリアごとに個性あるモールづくりを国内外で推進することで、人々のライフスタイルの向上と地域社会の発展に貢献することを指針として、事業展開に取り組んでいきます。

経営理念

イオンモールは、地域とともに「暮らしの未来」をつくるLife Design Developerです。

“Life Design”とは、商業施設の枠組みを越えて、地域のお客さまのライフステージを見据えたさまざまな機能拡充を行い、ショッピングだけでなく、人との出逢いや文化育成なども含めた「暮らしの未来」をデザインすることと定義しています。

重点施策

1. 新コンセプトモールの出店
2. 積極的なリニューアル・増床などによる既存モールの競争力強化
3. 成長ドライバーである海外事業の推進

具体的な成長戦略としては、お客さまニーズや地域特性に対応した新たなコンセプトに基づく新規モール開発の推進や、積極的なリニューアルによる既存モールの競争力強化によって、国内事業の基盤強化を図るとともに、新たな成長マーケットである中国・アセアン地域での事業展開を推し進めます。

国内各地で新たなコンセプトモールの開発を推進

当中間期では、上記戦略のもと新たに3モールをオープンし、いずれも好調に推移しています。本格的なリゾートモールをコンセプトとしたイオンモール沖縄ライカムでは、一括免税手続きカウンターの設置に加え、大手旅行会社11社との提携による海外団体ツアーの受け入れを7月よりスタートしており、インバウンド需要の取り込みが拡大しています。

引き続き下期もコンセプトモールの出店を推し進めます。10月には商圏人口100万人を抱える都心立地に対応し、オトナの女性をターゲットとしたイオンモール四條畷を、12月

には中部国際空港対岸部に位置し、ビーチも近いことから「海と空を120%楽しむエンターテインメントパーク」をコンセプトとしたイオンモール常滑をオープンします（詳細はP5-6）。

既存モールのリニューアルにより集客力を向上

既存モールの競争力強化については、当中間期に6モールのリニューアルを実施し、地域ニーズに対応したゾーニングへの転換やテナント導入を行いました。オープン当初からの環境変化や、周辺地域に暮らす方々のライフステージの変化を踏まえてリニューアルを推進することで、お客さまにとっての“鮮度”を高め、集客力や収益力の向上を図っており、いずれも好調に推移しています。

下半期には、9月の3モール、10月の1モールを含め、7モールでリニューアルを実施します。

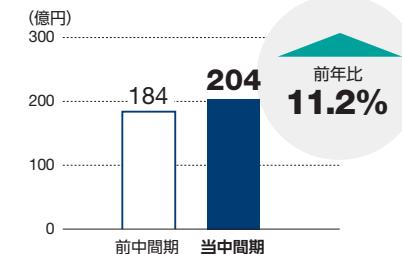
また、地域に密着した販売促進の展開、テナントサポートや顧客満足度向上への取り組みをさらに強化して売上拡大を図る

2016年2月期中間期連結決算ハイライト(2015年3月1日～2015年8月31日)

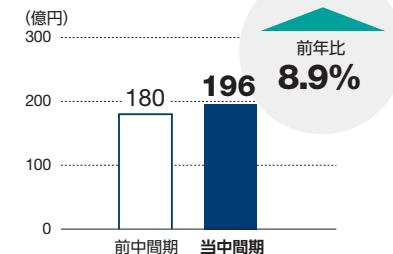
■ 営業収益



■ 営業利益



■ 経常利益



一方、国内140を超えるモールのスケールメリットを活かして、より効率的なオペレーション・システムの構築等によるローコスト運営に取り組み、モール収益の拡大を実現します(詳細はP7-8)。

ドミナント戦略により海外での出店を加速

海外事業については、経済成長が続く中国・アセアン地域においてドミナント出店を加速させます。成長力の大きなエリアを見据えて集中的に出店していくことで、エリア内でのブランド認知度を高め、集客やリーシング面においてアドバンテージを獲得します。加えて、オペレーションの効率化が可能となり、コストダウンが期待できるメリットもあります。

当中間期には、5月に中国7号店となるイオンモール蘇州園区湖東、5月にインドネシア1号店となるイオンモールBSD CITYをオープンしました。

下半期には、中国では、北京・天津、江蘇省・浙江省、湖北省、広東省の4エリアを中心としたドミナント出店を推進し、9月にオープンしたイオンモール北京豊台を含め5モールをオープンします。アセアンでは、ベトナムにおいてハノイ1号店となるイオンモールLong Bienをオープンし、カンボジア、インドネシアでは1号店の集客力強化に取り組むとともに、管理・運営ノウハウの向上により収益拡大を図ります。

中国やアセアン諸国における経済減速を懸念する意見もありますが、当社の既存モールの売上は年率2ケタ成長で推移し、新規モールも成長軌道に向け計画通りに推移しています(詳細はP9-10)。



China

江蘇省・湖北省をはじめ
4エリアでドミナント出店を加速。



ASEAN

今後の中間所得層の増加により、
消費マーケットの拡大が進展。

■ 既存店 □ 当中間期新規出店 + 当下半年の出店予定



Japan

地域特性を踏まえた
新コンセプトモールを展開。



今後もモータリゼーションの進展や中間所得層拡大に伴い、郊外におけるモール・ビジネスのマーケット拡大が期待できることから、海外事業を当社の成長ドライバーと位置付け、積極的に事業展開を進めていきます。なお、8月12日に天津市で発生した爆発事故により、現場から約2kmに位置するイオンモール天津TEDAが建物の一部に損傷を受け営業を休止しましたが、9月20日にGMS「イオン」が営業を再開し、専門店ゾーンも11月1日に営業を再開します。当該物件は、第三者所有のマスターリース物件であり、損害保険も適用される見込みであることから、当社業績に与える影響は極めて軽微となる見通しです。

持続的成長と高い収益性を兼ね備えた 強靱な企業体質の構築を推進

当中間期の営業収益、営業利益は2桁の増収増益、経常利益も増益となりました。四半期純利益は2モールのスクラップ&ビルドに係わる費用等約18億円を特別損失に計上した結果、前年同期を下回りましたが、公表数値を上回っています。

ここ数年は、国内外での積極的な新規出店に伴う先行コストにより、利益成長のスピードがやや鈍化していましたが、当中間期の好調な業績は、再び成長ステージに入った証左と考えています。通期では当期純利益も含めた増収増益をめざし、諸施策を推進します。引き続き、持続的成長と高い収益性を兼ね備えた強靱な企業体質の構築に取り組んでいきますので、株主の皆さまにおかれましては、何卒、変わらぬご支援ご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

新たなコンセプトによる個性あるモール開発を推進

ローカリゼーションの視点に基づき、地域ごとの特性やニーズを踏まえた個性あるモールづくりに注力することで、地域社会から支持されるモールの実現とともに、新たなノウハウの蓄積につなげています。

イオンモール沖縄ライカム(沖縄県) 2015年4月25日オープン

沖縄発の魅力を発信するアジアNo.1リゾートモールを展開。

国内有数の観光地にふさわしい本格的なリゾートモールとしてオープンしました。観光コンシェルジュの配置や外貨両替機の設置等、旅行者目線に立ったストレスフリーの環境とリゾート機能の強化により、来店客数に対する国内外観光客の構成比が13%に達する等、確かな成果が出ています。



観賞用大水槽等沖縄ならではのエンターテインメント機能を充実



地元の食文化・世界各国のローカルフードを集積した沖縄県最大のグルメゾーン

イオンモール旭川駅前(北海道) 2015年3月27日オープン

道北を代表する中核都市で、新しいライフスタイルを提案。北海道第2の都市、旭川市の玄関口であるターミナル駅に直結するという立地を活かし、“食や美と健康を中心とした新しい生活のスタイル”を提案することで、近隣市街地の新たな賑わいを創出します。大型ビジョンによる観光情報の発信や免税対応等、道北エリアにおける観光振興の取り組みを推進することで、地域活性化への貢献も期待されています。



モールの顔となる食物販ゾーンに地域の名産品や名店が集結



イオンモールとなみ(富山県) 2015年7月14日オープン

次代を担う子どもを中心に、3世代ファミリーのデイリーニーズに対応。

近年の高速道路網整備によって県内外とのアクセスが飛躍的に向上し、総合的な再開発が進められる砺波市。この地に育まれた自然や歴史、文化の魅力を活かしながら、3世代ファミリー、特に子育て世代に対応した店舗を中心に展開。地域の皆さまの日々の暮らしに寄り添う機能を充実させ、「快適」「元気」「やすらぎ」のまちづくりに貢献します。



下期の予定

イオンモール四條畷(大阪府)
2015年10月23日オープン



イオンモール常滑(愛知県)
2015年12月4日オープン予定

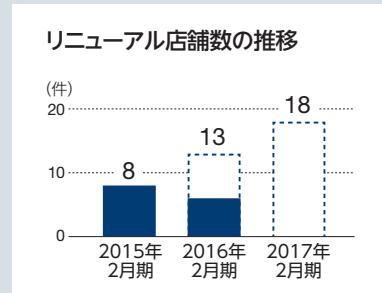


既存店の“鮮度”と“魅力”の向上を継続的に推進。

国内各地に構える約140のモールは、他社にはない資産です。これら既存モールの継続的なリニューアルを通じて、お客さまにとっての“鮮度”と“魅力”を高め続けることで、集客力の強化と業績の拡大につなげます。

大規模リニューアルを推進し、収益力の拡大へ。

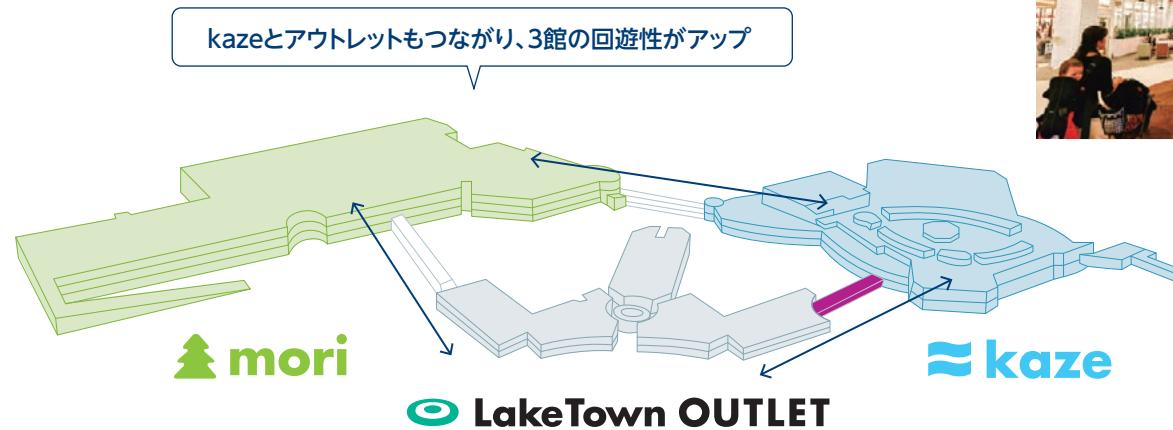
当社の既存モールの多くは2000年代に開発され、オープン当初と比べて社会環境や地域のお客さまのライフステージが変化しています。こうした変化を踏まえたリニューアルを推進することで、収益力の拡大を図ります。当中間期には、イオンレイクタウン、イオンモール広島府中をはじめ、6モールのリニューアルを実施しました。下期には、9～10月にリニューアルを実施したmozoワンダーシティやイオンモール広島祇園、イオンモール盛岡、イオンモール千葉ニュータウンを含め、7モールをリニューアルオープンします。



イオンレイクタウン (埼玉県)

2回にわたる大規模リニューアルを実施し、集客力や回遊性を大幅に向上。

2008年10月に誕生したイオンレイクタウンは、都市型の「kaze」と生活創造型の「mori」、そして「アウトレット」の3館で構成する、国内最大規模のショッピングモールです。オープンから約7年を経て、2015年4月に約350店舗を刷新する大幅リニューアルを実施した結果、5月以降の専門店売上は前期比で2桁近い伸び率で推移しています。11月からは、第2期リニューアルを実施し、約150店舗を刷新するほか、kazeとアウトレットをつなぐブリッジを設けてレイクタウン全体の回遊性を高めます。



イオンモール広島府中 (広島県)

増床も含めた2段階のリニューアルで中四国地方最大規模のモールに。

2015年7月にライブステージを備えた飲食スペース「ロジダイニング」をオープン。2016年秋には4階建ての増床棟を建設します。2度にわたるリニューアルによって中四国地方では最大のモールとなり、商圈エリアも拡大します。



「mori」2F南側ゾーンのギャザリングスペース

リニューアルオープン時の「kaze」



訪日外国人旅行者への対応を強化し、高まるインバウンド需要を取り込みます。

円安等を背景に拡大するインバウンド需要を積極的に取り込むため、免税対応テナントを拡大するとともに、「一括免税手続カウンター」をはじめとした訪日外国人旅行者向けのインフラ整備を進めています。



一括免税手続カウンター



インフォメーションカウンターの多言語サイン



観光ルートへの取り込み

地域の魅力創造に向け、産・学・官・民・文とコラボレーション。

地域に根ざしたモールの魅力向上をめざし、各モールが周辺地域の企業や教育機関、行政、民間団体、芸能・文化関係者等との連携によるコラボレーションイベントの開催に注力しています。



イオンモール旭川駅前「旭川駅前の夕日大作戦」



イオンモールKYOTO IMAF KYOTO

中国・アセアンでの新モール展開が好調に推移。

経済成長や中間所得層の拡大等を背景に、引き続き活発な消費が見込まれる中国・アセアン地域。当社は海外事業を成長ドライバーと位置付け、重点エリアにおいてドミナント出店を加速させるとともに、事業基盤の確立に努めています。

China

イオンモール蘇州園区湖東 2015年5月29日オープン

蘇州エリアに2号店を新規オープンし、ドミナント出店を加速させています。

蘇州エリアでは、2014年4月にオープンした1号店イオンモール蘇州呉中の成功により、地域における当社モールの認知度が高まっています。2015年5月にオープンした2号店イオンモール蘇州園区湖東は、都心立地を活かし、消費志向の強いニューファミリー層をターゲットに体験型の“コト消費”を充実させたことで、好調なスタートを切りました。同エリアでは、すでに3号店のオープンも決定しており、今後もドミナント出店を加速させます。



来店客数、専門店売上とともに、中国全体の伸び率を上回る成長を達成。

中国の既存モールでは、来店客数、専門店売上ともに増加しており、いずれも中国全体の小売売上の伸び率を上回る好調ぶりです。2014年4月にオープンしたイオンモール蘇州呉中、同年12月にオープンしたイオンモール武漢金銀潭も、週末には駐車場が満車状態になる等好調に推移しています。イオンモール武漢金銀潭では、来店客数が9月末で1,000万人を超え、年間では1,500万人の来店が見込まれます。今後もリニューアルやマネジメントの現地化により、さらなる成長を図ります。



イオンモール武漢金銀潭

中国小売売上高および当社既存モール前期比

	2014年1~12月(累計)	2015年1~8月(累計)
中国小売売上高※1	112.0%	110.5%
イオンモール専門店売上※2	117.9%	124.7%
イオンモール来店客数※2	121.4%	111.1%

※1 出所:中国国家统计局

※2 2014年1月~12月は3モール、2015年1月~8月は4モールで算出。但し、2015年8月度は営業を休止しているイオンモール天津TEDAを除く。

ASEAN

イオンモールBSD CITY 2015年5月30日オープン

インドネシア1号店として首都郊外にエリア最大級のモールを出店。

2015年5月に首都ジャカルタの南西部にオープンしたイオンモールBSD CITYは、モール全体の約40%を占めるインドネシア最大級の飲食ゾーンが好評を博しており、オープン3カ月の来店客数が400万人を超え、専門店売上も順調に推移しています。



既存店の業績も好調に推移。

アセアン地域では、2014年にベトナム1号店イオンモール タンフーセラドンと同2号店イオンモール ビンズオンキャンナリー、カンボジア1号店イオンモール プノンペンをオープンさせ、いずれも好調なスタートを切っています。またカンボジアにおいては2号店の出店も決定しました。



カンボジア観光省から「エコビジネスアワード特別賞」を受賞したイオンモール プノンペン

下期の予定

ロン ビエン
イオンモールLong Bien
(ベトナム・ハノイ市)
2015年10月28日オープン



経営成績

営業収益は1,117億5百万円(対前年同期比114.3%)となりました。営業原価は事業規模拡大により795億7千9百万円(同116.5%)となり、その結果、営業総利益は321億2千6百万円(同109.2%)となりました。

販売費及び一般管理費は、116億4千7百万円(同106.0%)となりましたが、営業利益は204億7千8百万円(同111.2%)と2桁の増益となりました。

経常利益は、営業外収益が10億3百万円(同109.7%)、営業外費用が18億2千2百万円(同141.6%)となった結果、196億5千9百万円(同108.9%)と増益となりました。

四半期純利益は、スクラップ&ビルドを計画しているイオンモール寝屋川およびイオンモール藤井寺の閉店に係わる費用18億3千8百万円を特別損失に計上したこと等により、97億9千6百万円(同95.3%)となりました。

結果、当中間期の連結業績は、過去最高の営業収益、営業利益を達成しました。

財政状態(資産、負債および純資産の状況)

▶ 資産の部

総資産は、前期末と比較して302億6千万円増加し、9,312億1千7百万円となりました。これは新規モールのオープン、将来の開発用地の先行取得等により、有形固定資産を752億8千7百万円取得した一方で、固定資産が減価償却により151億2千9百万円、有形固定資産売却により331億9千8百万円減少したこと等によるものです。

▶ 負債の部

負債は、前期末と比較して214億2千9百万円増加し、5,898億5千万円となりました。これは、短期借入金が270億7千4百万円、コマーシャル・ペーパーが200億円純増した一方で、新規モールのオープン等に伴う設備に関する未払金等が287億7千5百万円、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含

連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

	前中間期 自2014年3月1日 至2014年8月31日	当中間期 自2015年3月1日 至2015年8月31日
営業収益	97,692	111,705
営業原価	68,282	79,579
営業総利益	29,410	32,126
販売費及び一般管理費	10,990	11,647
営業利益	18,420	20,478
営業外収益	914	1,003
営業外費用	1,287	1,822
経常利益	18,047	19,659
特別利益	199	0
特別損失	267	2,389
税金等調整前四半期純利益	17,979	17,270
法人税、住民税及び事業税	7,726	8,185
法人税等調整額	△21	△299
法人税等合計	7,704	7,885
少数株主損益調整前 四半期純利益	10,275	9,384
少数株主損失(△)	△0	△411
四半期純利益	10,275	9,796

む。)が95億9千8百万円減少したこと等によるものです。有利子負債は、2,912億7千4百万円にとどまり、デット・エクイティ・レシオは0.9倍と、当社が指標としている1倍を下回った状況で推移しています。

▶ 純資産の部

純資産は、前期末と比較して88億3千万円増加し、3,413億6千7百万円となりました。これは、四半期純利益97億9千6百万円の計上により、利益剰余金が増加したこと等によるものです。

連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

	前期 2015年2月28日 現在	当中間期 2015年8月31日 現在
資産の部		
流動資産	103,572	100,393
固定資産	797,385	830,824
有形固定資産	689,820	716,187
無形固定資産	3,830	3,788
投資その他の資産	103,734	110,847
資産合計	900,957	931,217
負債の部		
流動負債	209,461	215,116
固定負債	358,959	374,733
負債合計	568,421	589,850
純資産の部		
株主資本	300,847	308,120
資本金	42,207	42,211
資本剰余金	42,516	42,520
利益剰余金	216,223	223,489
自己株式	△99	△100
その他の包括利益累計額	26,861	28,860
その他有価証券評価差額金	1,061	1,426
為替換算調整勘定	25,938	27,567
退職給付に係る調整累計額	△138	△134
新株予約権	169	204
少数株主持分	4,658	4,181
純資産合計	332,536	341,367
負債・純資産合計	900,957	931,217

連結キャッシュ・フロー
計算書(要約)

(単位:百万円)

	前中間期 自2014年3月1日 至2014年8月31日	当中間期 自2015年3月1日 至2015年8月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	55,114	26,317
投資活動によるキャッシュ・フロー	△75,757	△68,974
財務活動によるキャッシュ・フロー	22,507	34,542
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△1,561	650
現金及び現金同等物の増減額	302	△7,464
現金及び現金同等物の期首残高	59,096	67,222
現金及び現金同等物の 四半期末残高	59,398	59,757

財政状態(キャッシュ・フローの状況)

▶ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果増加した資金は、前年同期間と比較して287億9千6百万円減少し、263億1千7百万円となりました。主な要因は、前中間期末が銀行休業日であったため、専門店預り金232億3千4百万円の返還が第3四半期にずれ込み、前中間期末にプールされた状態にあったことによるものです。

▶ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果減少した資金は、前年同期間と比較して67億8千2百万円減少し689億7千4百万円となりました。主な要因は、新規モールのオープンに伴う設備代金や開発用地の先行取得代金の支払い等による支出です。

▶ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果増加した資金は、前年同期間と比較して120億3千4百万円増加し、345億4千2百万円となりました。主な要因は、短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの純増等によるものです。

結果、現金及び現金同等物の当中間期末残高は、前期末に比べ74億6千4百万円減少し、597億5千7百万円となりました。

株式の状況 (2015年8月31日現在)

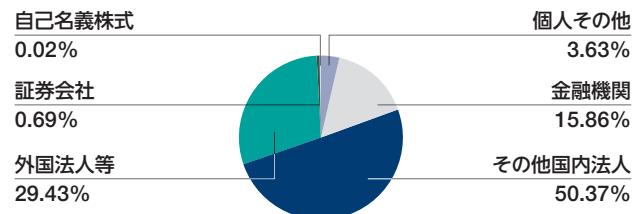
発行可能株式総数	320,000,000株
発行済株式の総数	227,895,757株
株主数	22,441名

大株主(上位10名) (2015年8月31日現在)

	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
イオン株式会社	112,116	49.19
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,692	2.93
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,953	2.17
サジャツブ	3,570	1.56
ジェーピー モルガン チェース バンク 385174	3,396	1.49
ザ バンク オブ ニューヨーク ノントリーティージャスデツク アカウソト	3,240	1.42
ステート ストリート バンク アソドトラスカソパソニー 505223	2,630	1.15
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE-HSD00	2,513	1.10
ステート ストリート バソク ウェストクソアソソトリーティー 505234	1,912	0.83
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,875	0.82

(注) 1. 持株数の千株未満は切り捨てています。
2. 発行済株式総数に対する持株数の割合は、小数点以下第3位を切り捨てて表示しています。

所有者別株式分布状況 (2015年8月31日現在)



株主優待のお知らせ

対象株主さま

毎年2月末日現在の株主名簿に記載された株主さまについて、実施いたします。

実施対象は、1単元(100株)以上の株式を保有されている株主さまです。

優待制度

- ・ 100株～ 500株未満：3,000円相当のご優待商品
- ・ 500株～ 1,000株未満：5,000円相当のご優待商品
- ・ 1,000株以上：10,000円相当のご優待商品

詳細については、2016年6月下旬に送付予定のご優待品選択に関するご案内をご覧ください。

◆ご優待商品

3つのコースから1つを選択していただけます。

- ①「イオンギフトカード」 ②「カタログギフト」



イオンギフトカード カatalog商品イメージ

③「カーボンオフセットサービス」*

※このサービスを選択されますと、相当額分の二酸化炭素排出権が一般社団法人「日本カーボンオフセット」(http://www.co-j.jp)を通じて、国の償却口座に無償で移転されます。



【ご報告】

2015年2月期の実績では、40名の方よりご選択いただき、47トン分の二酸化炭素排出権を取得いたしました。

会社概要 (2015年8月31日現在)

社名	イオンモール株式会社
英文社名	AEON MALL CO., LTD.
設立	1911(明治44)年11月
資本金	422億1千1百万円
本社所在地	千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目5番地1
従業員数	2,227名
モール数	153店(海外含む)

取締役・監査役 (2015年8月31日現在)

取締役会長	村上 教行	取締役	藤木 光広
代表取締役社長	吉田 昭夫	取締役	平 真美 ※1,3
専務取締役	岩本 馨	取締役	河端 政夫 ※1,3
専務取締役	千葉 清一	監査役	鈴木 順一 ※2
常務取締役	梅田 義晴	監査役	平松 陽徳 ※2
取締役相談役	岡田 元也	監査役	市毛 由美子 ※2,3
取締役	三嶋 章男	監査役	福田 真 ※2
取締役	玉井 貢		

※1 社外取締役 ※2 社外監査役 ※3 東京証券取引所の定めに基づく独立役員

ホームページのご紹介

投資家の皆さまへの情報はホームページでもご覧になれます。トップページから、「株主・投資家情報」をクリックしてください。

http://www.aeonmall.com



当社のホームページではさまざまな情報を発信しています。

http://www.aeonmall.com/ir/



株主さま、投資家の皆さまへの情報開示に努めています。

株主メモ

決算期	2月末日
基準日	定時株主総会基準日 2月末日 期末配当基準日 2月末日 第2四半期末配当基準日 8月末日
定時株主総会	5月末日までに開催
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 電話 0120-288-324(フリーダイヤル)
お問い合わせ先	イオンモール株式会社 管理本部 総務部 〒261-8539 千葉県美浜区中瀬一丁目5番地1 電話 043-212-6463
公告方法	ホームページ http://www.aeonmall.com 電子公告の方法により行います。但し、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

未払配当金のお支払い、支払明細の発行

みずほ信託銀行の下記連絡先にお問い合わせください。

住所変更、単元未満株式の買取請求、口座振替、配当金受取方法の指定等

【証券会社に口座をお持ちの株主さま】
お取引の証券会社にお問い合わせください。
【特別口座の株主さま(証券会社に口座をお持ちでない株主さま)】
みずほ信託銀行の下記連絡先にお問い合わせください。

お問い合わせ先

〒168-8507 東京都杉並区泉東二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-288-324(フリーダイヤル)

消費拡大が続く中国で、 下半期も5モールの出店を予定しています。

消費拡大が続く中国のなかでも、特に成長が見込まれる「北京・天津エリア」「江蘇省・浙江省エリア」「湖北省エリア」「広東省エリア」の4エリアでドミナント出店を進めています。当中間期は、5月に中国7号店、江蘇省2号店となるイオンモール蘇州園区湖東をオープンし、下半期も北京・天津エリア5号店となるイオンモール北京豊台をはじめ、5モールの出店を予定しています。



中国で当社モール初となる
スポーツクラブ

購入した食材を
その場で調理できる
デリ&デザートゾーン

2015年9月19日 オープン イオンモール北京豊台

成長が期待される中核都市で、
新しいライフスタイルを提案。

北京市南部に位置する豊台区は、中国大手企業の本社が集積する等、著しい発展が期待できるエリアです。イオンモール北京豊台は、同区最大のショッピングモールで、お客さまへの新たな都市型ライフスタイルの提案をテーマに、コンセプトゾーンを各フロアで展開しています。



イオンモール武漢経開



イオンモール広州番禺広場



イオンモール蘇州新区



イオンモール杭州良渚新城

経済成長が見込まれる
4エリアでドミナント出店を加速